

第3次環境基本計画リーディングプロジェクトについて

★課題感：**環境に関する知識を継承する場や機会が不足している**

●Who

事業の対象は誰ですか？

個人・ 集団 ・ 地域 ・ 企業 ・ 学校

その他
()

●Goal:目標

事業の実施によって、事業対象をどのような状態に変化させたいですか？

暮らしの中の環境意識が自然に高まる。学校、団体、イベントで活躍できる「ちいさな先生」が増える。

●What

目標実現のため、市民や企業とも連携しながら行政はどのような行動を行いますか？
(①手段、方策など、複数でもOK ②できる、できないはあまり考えない)

市民みんなで育てる「エコ・ティーチャー」プロジェクト

誰でも「ちょっと詳しい人」から始められる、「学んで・体験して・伝える」地域型環境人材育成の仕組み。特別な知識や資格は不要。日々の暮らしの中で環境の視点を持つことが、地域貢献・生きがいにつながるように設計する。

・エコ・ティーチャー弟子入り制度 ・分野別認証登録制度 ・マッチング支援

★課題感：**環境課題が複雑化し、多様な視点からのアプローチが必要になっている**

●Who

事業の対象は誰ですか？

個人・**集団**・**地域**・**企業**・**学校**

その他
()

●Goal:目標

事業の実施によって、事業対象をどのような状態に変化させたいですか？

**環境課題に対し、様々な主体
が関わるようになる**

●What

目標実現のため、市民や企業とも連携しながら行政はどのような行動を行いますか？
(①手段、方策など、複数でもOK ②できる、できないはあまり考えない)

「丹波篠山・共創プラットフォーム（仮称）」による協働プロジェクトの推進

- ・環境課題の持ち寄り
- ・協働プロジェクト創出のための「丹波篠山・共創プラットフォーム（仮称）」の設置
- ・協働プロジェクト提案会の開催
- ・協働プロジェクトの実施支援
- ・協働プロジェクトの振り返り・評価
- ・協働プロジェクト改善・実施

★課題感: **市民レベルで自然環境に対する理解が広がっていない**

●Who

事業の対象は誰ですか？

個人・集団 **地域**・企業・学校

その他
()

●Goal:目標

事業の実施によって、事業対象をどのような状態に変化させたいですか？

「丹波篠山らしさ」が資源として再評価される

●What

目標実現のため、市民や企業とも連携しながら行政はどのような行動を行いますか？
(①手段、方策など、複数でもOK ②できる、できないはあまり考えない)

「自然と遊ぶ・働く」地域デザイン戦略

丹波篠山市の豊かな自然や農地のほか、耕作放棄地や空き地といった「地域の未活用資源」を、「遊び」「学び」「働く」の場として再デザインする。

- ・耕作放棄地を「自然と学びのフィールド」に
- ・遊び場と自然のフィールドマップ、QRコード案内の整備